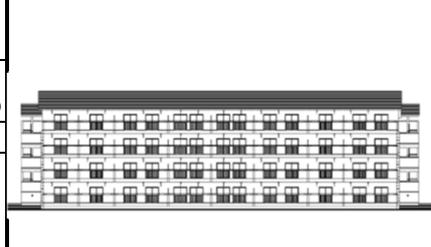


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	富士宮市宮万野住宅建設工事E棟	階数	地上4F
建設地	富士宮市万野原新田字机島3011-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住宅専用地域	平均居住人員	76人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,000時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年1月5日
敷地面積	2,563㎡	作成者	大瀧敬久
建築面積	609㎡	確認日	
延床面積	2,013㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果である。 建築物の環境品質については、ゆとりが有り維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。		その他 特になし
Q1 室内環境 床及び壁の構造は遮音性に配慮した。 4☆製品を使用し室内空気質に配慮した。	Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせることによって、機能的で使いやすい空間とするとともに将来の変化にも対応できるように配慮している。 躯体、仕上、配管の更新必要間隔が長い材料を採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地により温熱環境の向上に配慮した。外部仕上において、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 消費電力の小さいLED照明を採用している。 太陽光発電システムを設置している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。	LR3 敷地外環境 近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される